

— 21世紀の地球環境を創造する —
株式会社 芙蓉コンサルタント



所在地：〒790-0063 愛媛県松山市辻町2-38
TEL：089-924-1313
FAX：089-923-5717
URL：http://www.fuyonet.co.jp/
従業員：65名
設立：昭和38年10月18日
代表者：代表取締役社長 大野 二郎
資本金：4,000万円
事務所：宇和島市、西条市



ワークショップ開催



スリランカ豪雨災害調査



松山市の景観(坊ちゃん電車と松山城)



屋根付橋「下の宮橋」(歴史的建造物の復元)



自然石の改修堰「正体下堰」(歴史的建造物の復元)



国道196号大浦横断歩道橋



国道379号(内子町)の改良



国道379号(小田町)新田橋(L=79.1m、W=12.0m)

経営理念

当社は昭和36年創業以来「信頼、誠実、創造」を社是とし地域の総合建設コンサルタントとして社会資本整備のため、より良い技術を提案し地域のアドバイザーの役割に努めて参りました。

会社の目指す経営理念は「①お客様第一主義に徹し誠実なサービスと創造的な技術・信頼をモットーに地域社会に貢献する企業を目指す」「②社員が快適で意欲を持って働ける職場環境をつくり生涯を託せる企業を目指す」の2か条です。

毎年外部講師による経営診断を役員・部長が休日を含む2日間終日実施し、経営状況の点検、中期、長期計画を総括、反省点をもとに計画の見直しを行っています。

現在の厳しい経営環境の変化に対応し、経営改革の意識を全社員が共有することで、役員・社員が一体となる取組みをしています。

技術開発・人材育成

地域の抱える当面の課題は、①防災対策、特に喫

緊の南海地震対策、②地域特性を生かした工法の開発、③環境にやさしい技術の開発等であり、これらの課題に地元の愛媛大学や愛媛県の研究機関と連携し、ご指導のもとに取組んでいます。

具体的には、土構造物の耐震対策としてNEXCO西日本四国支社耐震性評価手法検討委員会への参加、鉄筋挿入工を用いた岩盤一体型置換えのコンクリート基礎工法の開発、地域建設業者が行えるよう改良した気泡混合軽量土(FCB)の設計・施工の開発、サーモグラフィー利用による法面保護工の温度低減効果の研究などを進めています。

また、研修は人材育成長期計画を策定し、外部講師による研修、学会への技術発表や講習会への参加ほか、社内勉強会や年1回の社内技術発表会など技術の研鑽に努めています。また、資格取得のための社内勉強会の開催などにより受験者を支援しています。

社会貢献活動

当社は“地域と共に”を合言葉に、ボランティア活

動にも積極的に参加しています。

その1つに愛媛大学と連携した大規模災害等の現地調査があります。2003年のスリランカ水害の愛媛大学・ペラデニア大学合同現地調査、2004年スマトラ島津波被害調査、2006年ジャワ島中部地震被害調査、国内の2003年十勝沖、2007年新潟県中越沖地震被害調査などに参加し、2004年9月の台風21号による県内東予の災害救援にも多数の社員が参加しています。

また、毎年道路を歩きながら清掃する「88クリーンウォーク」、毎年県の環境美化活動である「クリーン愛媛運動強調月間(7月)」、一級河川「重信川の自然をはぐむ会のクリーン大作戦(6月)」、地域主催の「石手川大掃除(3月)」へも参加しています。

業務実績

当社の業務範囲は地域の要請に応えるため、南海地震防災対策としてのワークショップや都市景観計画、水文調査、交通量や交通事故調査を始めとし、測量、地質調査、補償調査から道路、河川、橋梁な

どの土木設計、農業土木、上下水道の各種設計や用地調査、施工管理まで幅広い内容になっています。

平成21年度業務の景観ワークショップ運営等委託業務は、県都松山市で進めている『坂の上の雲』(司馬遼太郎)のまちづくりの一環として、景観計画策定に向けて、松山城を中心とした松山市役所周辺と道後温泉周辺について、ファシリテーターを活用したワークショップを開催し、地域住民の景観形成に関する意見をとりまとめています。

更に松山市のまちづくりではJR松山駅の高架化と区画整理、松山外環状線(国道33号から56号間)の整備に取り組んでおり、これに参加しています。

また、国土交通省四国整備局SKIPグランプリ表彰対象業務では、肱川護岸の「大洲榎形修景護岸設計」(グランプリ賞)、肱川上流の石積「正体下堰」(準グランプリ賞)、内子町の屋根付き橋「下の宮橋」(ユニーク賞)の設計がそれぞれ受賞しています。

(文:代表取締役社長 大野 二郎)